

# 令和5年度（2023年度）北海道札幌啓成高等学校の教育



<b>【教育の目的】教育基本法</b> ① 人格の完成 ② 平和社会の形成者	<b>【校名】啓成</b> 「啓」…「ひらく、教える、導く」 知能を啓発する。 「成」…「なる、なす、完成する」 全人の人間を完成させる。	<b>■ 教育目標</b> 1 スクール・ミッション ◇ 次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒を育成する ◇ 向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒を育成する ◇ 資質・能力の啓発し、時代の先駆者として自己と世界のよりよい未来を創造する意識と力量を育てる 2 教育目標 ◇ 礼節と秩序を重んじ、責任と義務を遂行する気風を育む ◇ すすんで 知性を磨き、豊かな情操を涵養する態度を養う ◇ 豊かな自然に親しみ、強い身体と強固な精神を陶冶する	<b>■ 目指す生徒像</b> 1 礼節と秩序を重んじ、責任と義務を果たすことのできる生徒 2 自ら進んで知性を磨き、豊かな情操を身につけようとする生徒 3 豊かな自然に親しみ、強い身体と強固な精神を鍛える生徒 4 勤労を愛し、奉仕の精神を持って社会に貢献しようとする生徒
<b>【国の方向性】</b> 教育振興基本計画(第2期) ① <b>自立</b> (個性・能力を伸ばし、人生を主体的に切り拓く) ② <b>協働</b> (多様性を尊重し、支え、高め合う) ③ <b>創造</b> (更なる新たな価値を創造)	<b>【校訓】剛健礼讓</b> <b>【校章：雪持ち笹】</b> 年の半ばを雪に埋もれながら、時が来るのを耐えて待つ、 <b>強くしなやかなフロンティアスピリット</b> のある人	<b>【本校が育成を目指す資質・能力】</b> 主体的・対話的で深い学び 社会貢献力 デザイン力 基礎的体力 自律的活動力 粘り強い精神力 コミュニケーション力 コラボレーション力 創造力 批判的思考力	
<b>【北海道が目指す教育】(教育推進計画)</b> ① <b>自立</b> (自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む) ② <b>共生</b> (ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む)	<b>【立地】</b> ◆ 野幌森林公園、北海道博物館、北海道開拓の村、北海道百年記念塔に隣接 (自然と歴史の学び) ◆ 酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、道立教育研究所、道立図書館、札幌市青少年科学館に隣接 (専門機関との連携) ◆ 鉄道、国道に近い利便地		
<b>【生徒・保護者・地域の期待】</b> ◆ 充実した学習・生活 ◆ 進学校としての進路目標の実現	<b>【北海道における役割】</b> ◆ 理数科設置校の中核校 ◆ 高文連新聞専門部事務局校		

◇ 入学者の受入れに関する方針 本校で学ぶ動機が明確であり、何事にも幅広く興味・関心を持ち、主体的に取り組む資質・能力を有する人を求める。 (アドミッション・ポリシー)	◇ 教育課程の編成・実施に関する方針 <b>新たな価値を創造し、より良く生きていくために、本校生徒として身に付けるべき資質・能力をバランス良く育成するカリキュラムを構築する。(カリキュラム・ポリシー)</b> 1 学習指導要領の趣旨に則り、生徒の特性・実態や保護者・地域等の期待を踏まえた教育課程を編成・実施するとともに、適切に評価し改善・充実に努める。 2 学習意欲の向上と基礎・基本の確実な定着や発展的な学習の促進等に取り組み、生徒の個性を伸ばし進路目標を実現する教育課程の編成・実施に努める。 3 総合的な探究の時間、特別活動等の充実を通してキャリア教育を推進するとともに、変化の激しい社会において主体的に自己実現し、たくましく生き抜く生徒の育成に努める。 4 SSH事業の研究開発を通して、課題解決能力やコミュニケーション能力、創造力等を育む教育課程の実践と授業改善に努める。	◇ 育成を目指す資質・能力に関する方針 本校で学んだ資質・能力を基に、自ら考え責任ある行動をとり、協働しながら持続可能な共生社会を創造する自立した個人を育成する。 (グラデュエーション・ポリシー)
--	---	--

<b>★ SSH事業 (全校) によって育成を目指す資質・能力</b> ◆ 粘り強い精神力 ◆ 批判的思考力 ◆ デザイン力 ◆ 創造力 ◎ 科学的アプローチをデザインする力を育成するKSI ◎ 分野融合的な森林科学教育プログラム ◆ コミュニケーション力 ◆ 批判的思考力 ◆ デザイン力 ◆ 創造力 ◆ 社会貢献力 ◎ 地域と連携した探究学習プログラム ◎ 分野融合的な森林科学教育プログラム	◆ (国際) コラボレーション力 ◆ (英語) コミュニケーション力 ◆ デザイン力 ◆ (国際) 社会貢献力 ◆ 自律的活動力 ◎ 海外との社会課題解決協働プロジェクト <b>★ Future Vision (普通科「総合的な探究の時間」)</b> <b>【コンテンツ】</b> ◆ Curiosity(好奇心) ◆ Challenge(挑戦) ◆ Communication(コミュニケーション) ◆ Courtesy(謙遜) ◆ Characteristics(特徴、持ち味) <b>【コンピテンシー】</b> ◆ Critical thinking(批判的思考力) ◆ Communication(コミュニケーション力) ◆ Collaboration(コラボレーション力) ◆ Creativity(創造力) ☆ 戦略的学習力 ◇ 教科学習による知識、見方・考え方 ◇ メタ認知力 ◇ レジリエンス ◇ ソーシャル・インテリジェンス	<b>【SSH】</b> ★ 個々の特性に応じた資質・能力を獲得したグローバルに活躍する科学技術系リーダーを育成する。 ★ 優れたコミュニケーション能力、高い汎用能力を持った「主体的協働者」を育成する。 学習指導 生徒指導 保健・安全指導 生徒会指導 進路指導	★ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく課題を解決するために必要な ★ 豊かな人間性と強い心を持ち、社会に貢献できる生徒を育てる。 ★ 計画的かつ組織的な進路学習により自己理解と目標設定、意欲の高揚を促すとともに、保護者との連携により、適切な指導を通して、進路実現を目指す。 各教科 国語 地理歴史 公民 数学 理科 芸術 外国語 理数 家庭 情報 特別活動 HR活動 生徒会活動 学校行事
---	---	---	---

## ◎ 学校経営方針 (令和5年度 (2023年度) 重点目標)

<b>【新学習指導要領、高大接続改革】</b> ★ H30年3月告示、R1先行実施、R4年次進行で実施 ★ 学力の3要素、主体的・対話的で深い学び、3観点評価 ★ 新大学入学選抜3年目 【啓成の教育理念、理数科設置、SSH】	1 本校の特色ある教育活動の推進と持続可能な運営体制の構築 2 学力の3つの柱の育成と「ウィズコロナ」における学びの保障 3 STEAM教育を実現させる「教科横断的な学び」の実践と「総合力」の育成 4 教職員の健康と生活の充実に向けた業務の焦点化と効率化の推進 【学校における働き方改革北海道アクション・プランR2.3】	<b>【技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革 (教育再生実行会議第11次提言) R1.5.17】</b> <b>【「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中教審答申)R3.1.26】</b> ★ Society5.0対応 ◇ 基礎的読解力、数学的思考力、データサイエンス等の基礎的学力や情報活用能力の育成 ◇ 能動的に学ぶ姿勢、文理両方のバランスよい学びの実現
--	--	--

## ◎ 重点目標実現のための3つの柱と土台 (目指す学校像)

<b>1 自律的に生き、社会に貢献する資質を育てる学校</b> <b>【自律的生活態度の育成】</b> ★ 自己指導能力の育成 ◇ 基本的生活習慣の定着 ◇ 全教育活動での粘り強さや考え方の柔軟性の醸成 ◇ 生徒観察及び示唆・指導・助言 ◇ 共感的人間関係の醸成 ◇ 教育相談の連携体制 <b>【社会に貢献する資質の育成】</b> ★ 組織的・計画的・継続的な指導・支援・保護者連携 ◇ 将来の在り方生き方を踏まえた目標設定の支援 ◇ 効果的な情報提供 ◇ 進路相談の充実 ◇ 職業観・人生観の醸成 ◇ 研修の充実	<b>2 学力の3つの柱を育て、学びと指導に生きる評価をする学校</b> <b>【学力の3つの柱の育成】</b> ★ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成 ◇ シラバスの作成・配付 ◇ 新制度入試問題の研究 ◇ 朝学習 ◇ 発表機会の設定・活用 <b>【授業改善と評価研究】</b> ★ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ◇ OPPAシートの活用 ◇ 校内研修 ◇ 授業改善アンケート ◇ 先進的取組の活用 ◇ 課題研究、FVの学びと教科・科目の学びとの往還	<b>3 先駆的な教科横断の学びと総合力の向上を実現する学校</b> <b>【先駆的な教科横断の学び】</b> ★ SSH関連 ◇ KSI、FV ◇ 北大研修、道内研修、道外研修、海外研修 ◇ 科学講演会、女性研究者交流、英語特別授業 ◇ 課題研究発表会、学術祭、HISF <b>【総合力の向上】</b> ★ 意欲を高める学びの融合 ◇ 進路ガイダンス・説明会(生徒・保護者対象) ◇ 見学旅行、芸術発表会 ◇ 啓成祭、体育祭、クリスマスイベント等への参画 ◇ 学習と部活動の両立
<b>4 教職員の相互信頼によりスケールメリットを生かす学校</b> <b>土台</b> <b>【校内での協働 (プロとしてチームで実践)】</b> ◇ 使命感、服務規律保持 ◇ 自己目標、自己評価の意識 ◇ 専門性、プロ意識 ◇ 共通理解・協働による実践 ◇ 学校経営参画意識 ◇ 心身の健康管理 ◇ ICTの活用 ◇ 会議運営の工夫 ◇ 将来構想委員会AKP23		